

第 28 回 役員会 議事要録

日 時：平成 24 年 1 月 23 日(月)14:30～15:30

場 所：北方キャンパス本館 E-703 会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、志賀理事、岡本理事、梶原理事、堀口理事
中野（利）監事、中野（昌）監事、木原副学長

- 配付資料
- 1 事務局組織の改正について
 - 2 教員の採用について
 - 3 図書館長及び情報総合センター長の選考について
 - 4 平成 24 年度科学研究費助成事業（科研費）応募状況 学部別（前年比）
 - 5 平成 24 年度 3 月卒業予定者の就職内定率について
 - 6 平成 23 年（㉙）第 71 号地位保全等仮処分申立事件について
 - 7 平成 24 年度北九州市立大学 推薦・社会人入学試験
 - 8 文部科学省による教職課程の実地視察について
 - 9 北九州市立大学のウェブサーバーへの不正アクセスについて
 - 10 本学学生の大麻取締法違反容疑での逮捕について

議案 1 事務局組織の改正について

配付資料 1 のとおり、事務局組織の改正について提案。

- 非常に分かりやすい。良い改正であると思う。それに伴う職員の増減はどのようになるのか。
- 全体の職員数は、これまでと変更はない。学生課を廃止し、これまで管理課一つであったひびきのキャンパスを二課にすることで、課長職ポストが、北方からひびきのへ一つ移る。
- 研究支援係が新設されるが、具体的な業務は。
- 学外の助成金等、文科省であったり関係省庁、あるいは民間からの研究に対する助成の情報収集が必要であり、申請手続や知財管理など、研究支援の業務は非常に多い
- 職員の養成などが問題となってくると思うが、今後どのような予定になっているのか。
- 市からは、現在の市派遣職員を半減するように要請があり、その分プロパー職員を採用することとなる。大学事務の専門職として、養成していくことが課題である。
- 大学の中だけで養成するとなると難しいと思うが、どのようにしていくべきか。
- 公立大学に限らず、プロパー化を進めて行くに当たっては、どの大学も職員研修が非常に重要となってくる。本学も加入している公立大学協会や、認証評価を行っている大学基準協会でも、積極的に情報交換や研修を行うような動きが出てきている。大学独自では難しいが、複数の大学と連携して研修を行っていく必要がある。現在人事交流までは行っていないが、大学基準協会の事務職には、私大から多数人事交流を行っている例もあり、今後は公立大学でもそのような可能性もある。

【議長】議案について、承認してよろしいか。

【役員全員】異議なし

報告1 教員の採用について

配布資料2のとおり、教員の採用状況について報告があった。

報告2 図書館長及び情報総合センター長の選考について

配付資料3のとおり、図書館長及び情報総合センター長の選考について報告があった。

報告3 科学研究費補助金の応募状況について

配付資料4のとおり、平成24年度の科学研究費補助金の応募状況について報告があった。

報告4 就職内定率について

配付資料5のとおり、平成24年3月卒業予定者の就職内定率について報告があった。

報告5 地位保全仮処分申立事件について

配付資料6のとおり、地位保全仮処分申立事件について報告があった。

報告6 平成24年度推薦・社会人入学試験について

配付資料7のとおり、平成24年度推薦・社会人入学試験について報告があった。

報告7 その他報告事項について

配付資料8、9、10のとおり、報告があった。